

東京藝術大学音楽学部・別科、大学院音楽研究科入試における 受験者（同伴者を含む）への要請事項について

試験場における新型コロナウイルス感染拡大を防止し、受験者自身が安心して受験できる環境を確保していくためにも、受験者（同伴者を含む）は以下の事項を遵守すること。

① 自主検温

日頃から感染防止について心がけるとともに、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認すること。

② 医療機関での受診

試験日の1週間程度前から発熱・咳等の症状がある受験者（同伴者を含む）はあらかじめ医療機関での受診を行うこと。

③ 受験できない者・同伴できない者

以下に該当する受験者は受験できず、同伴者は同伴できない。

・新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の受験者または同伴者

なお、予定していた同伴者を同伴できなくなった場合は、受験者が代替りの同伴者を用意すること。

④ 濃厚接触者

保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた者のうち、受験日当日も無症状であれば基本的に受験ができますが、個別対応が必要となるため必ず事前に音楽学部学生募集係へ申し出るようにしてください。

⑤ 受験の取り止め

③により受験を取り止めた者を含め、追試験は実施しない。また、入学検定料の返還は行わない。

⑥ 試験当日における対応

試験当日に息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合、基礎疾患等により重症化しやすい受験者が発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合の他、発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合は、試験当日における対応等について、かかりつけ医や「受診・相談センター」（地域により名称が異なることがある。）に相談すること。また、上記に該当しないものの、発熱や咳等の症状のある受験者（同伴者を含む）は、その旨を誘導監督員または入試事務室に申し出ること。

症状の有無にかかわらず、各自マスクを持参し、試験場では、演奏のために必要な場合と昼食時以外は常に着用すること。何らかの事情によりマスクの着用が困難な者はあらかじめ申し出ること。休憩時間や昼食時、入退場時等における他者との接触、会話を極力控えること。

試験終了後、試験室からの退出の順番が来るまでそのまま待機すること。

試験場内ではマスクを廃棄しないこと。各自寄り道などはせず、まっすぐ帰宅すること。帰宅後はまず手や顔を洗うこと。

⑦ 試験当日の服装、昼食

試験当日、試験室等の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、温度調節のしやすい服装が望ましい。また、試験会場で食堂の営業等を行わないため、昼食を持参する場合は、あらかじめ指示された時間に自席で食事をとること。

また、食事を取り終えた後は、速やかにマスクを着用すること。

⑧ 予防接種

他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けておくことが望ましい。なお、予防接種により翌日以降に発熱等の副反応がみられる場合があるので、予防接種のスケジュールには十分注意すること。

⑨ 「新しい生活様式」等の実践

日頃から、「三つの密」の回避や、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染症対策の徹底を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけること。

※お問い合わせは、音楽学部学生募集係 (music.admissions@ml.geidai.ac.jp) へメールをお願いします。